

国/県	種別	名称	よみ	員数	所在地	指定等年月日	構造形式	法量	解説	写真	備考
国	重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区	たけはらしたけはらちんでんとうてきけんぞうぶつくんほそんちく		竹原市竹原町	【選定年月日】昭57.12.16		約5.0ha	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区は、竹原の中心の本町(ほんまち)通りに沿った町筋で、江戸時代初期(17世紀前半)に形成された町である。通りに沿う建物は、二階建て、切妻造、瓦葺の堂屋造りの町家で、大半が江戸時代中期(17世紀後半～18世紀前半)から明治時代に建てられている。妻入りと平入りが混在し、また街角には人母屋造の建物があり、町並みに変化を与えている。町家の正面意匠も出格子(でこし)・平格子・あるいは平本格子と多様であるが、格子の連続する町並みは落ち廻した中にも華やかさをもつ統一したたずまいを見せる。大規模な家では広い庭をつくり、奥庭敷や茶室を設け、竹原の町人文化の様子が窺い知られる。この地区は塩業を基盤として発展した町で質の高い町家が連続し、町並全体の意匠もすぐれ、瀬戸内海沿岸の伝統的な町家群の好例である。		
国	重要伝統的建造物群保存地区	豊町御手洗伝統的建造物群保存地区	ゆたかまちみたらいでんとうてきけんぞうぶつくんほそんちく		呉市豊町	【選定年月日】平6.7.4		約6.9ha	豊町は、瀬戸内海の中央部西寄りにある大崎下島にある。御手洗地区は島の東南端にあり、寛文6年(1666)に町割りが行われ、寛文12年(1672)以後、北前船(西廻り航路)の航行等により沖乗り航路が開発される中で、蒲待ち、船待ちの港として御手洗港が発達し、江戸時代を通じて中継ぎ港として栄え、西国大名も参勤交代の際、この港に船宿をもって寄留した。幕末期には薩摩藩・長州藩・長州藩との交易場所になり、外国船も停泊した。ドイツ人シーボルトも参府の際、立ち寄ったり、元治元年(1864)には京都を脱出した三条実美らが長州に逃れる途中に寄港している。この地区の建物は江戸時代後期から明治時代のもが多く、一部には洋風建築も残っている。また、港には、船木や突堤、石組護岸、高倉船が残り、歴史的な景観を形作っている。		
国	重要伝統的建造物群保存地区	福山市鞆町伝統的建造物群保存地区	ふくやましともまちでんとうてきけんぞうぶつくんほそんちく		福山市鞆町	【選定年月日】平成29年11月28日			福山市鞆町伝統的建造物群保存地区は、中世の骨格を引き継ぎ江戸中期までに整えられた地割に、江戸時代からの伝統的な町家が社寺建築や石垣等の石造物、港湾施設等と一体となって良好に残り、瀬戸内の港町としての歴史的風致を良く伝えており、我が国にとって価値が高い。		
国	重要伝統的建造物群保存地区	廿日市市宮島町伝統的建造物群保存地区	ほつかいちしみやじまちょうでんとうてきけんぞうぶつくんほそんちく		廿日市市宮島町	【選定年月日】令和3年8月2日			廿日市市宮島町は広島湾の厳島(安芸の宮島)に建つ厳島神社の門前町である。海沿いの狭い土地に形成された町並みには、戦国時代に由来しつつ、江戸後期までに形成された特徴ある地割が良く残る。江戸時代から昭和20年代に至る伝統的な町家や和風住宅が、山麓に建つ寺社建築や社家住宅と一体となって、厳島神社の周囲に栄える門前町の歴史的風致を良く伝える伝統的建造物群保存地区。		関連施設: 宮島歴史民俗資料館(0829-44-2019)